

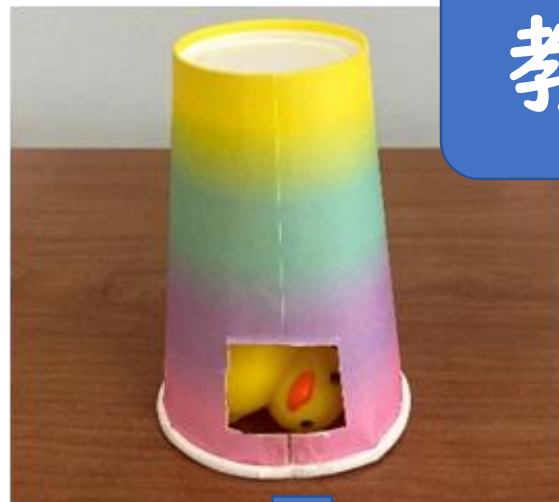
小学部の教材紹介



著作権に配慮し、ぼやかしている部分があります。

※2次使用また複製はご遠慮ください。

教材 I



ねらい

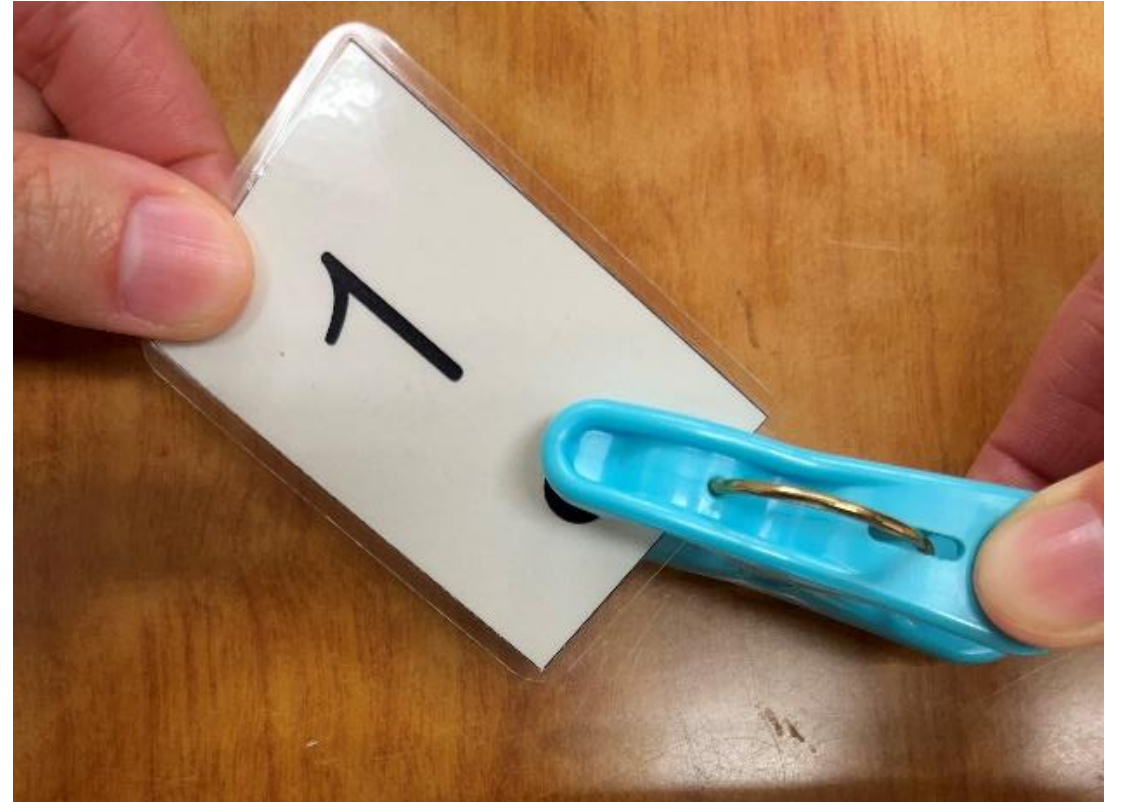
- ① 物を目で追う。
- ② 隠されたものを探す。

教材！

使用方法

- ① 透明カップ⇒穴を開けたカップ⇒中身が見えないカップを使用し、段階を踏んで実施する。
- ② 音の鳴るものや好きなものをカップに入れ、注目を促す。
- ③ 「どっち」「ちょうだい」と声掛けをし、カップから取り出し手渡すよう促す。

教材2



ねらい

★手元をよく見て、正しい場所に洗濯ばさみを挟む。

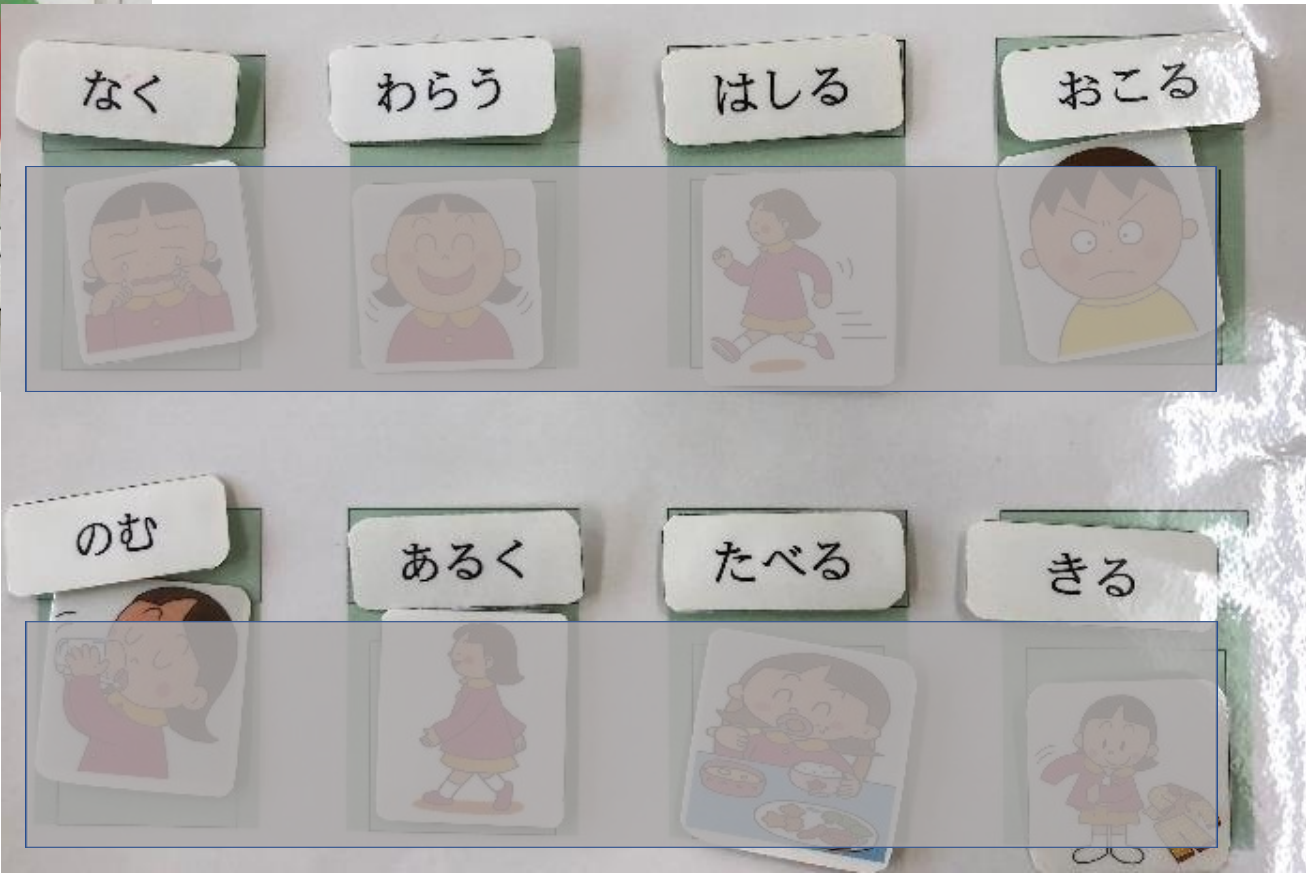
使用方法

★カードに描かれている点に合わせて、洗濯ばさみでカードを挟む。

ポイント

- ・カードの点を指差し、顔の前に持って行って、点を意識させる。
- ・洗濯ばさみを右手の親指と人差し指で持たせ、カードを左手に持たせる。
- ・目線が手元に向かない時には、カードを持つ手を持ち上げて、カードを見るように促す。

教材3



ねらい

名詞、動詞の理解、動作語の言語表現、動作の身振り表現
語彙数を増やす、文字の理解

使用方法

- ①イラストのみを提示し、物の名前を答えさせる（覚えさせる）。
- ②動作を身振り手振り、表情と一緒に表現する。
- ③慣れてきたら平仮名を提示し一文字ずつ読ませる。
- ④イラストのみ貼っておき平仮名カードを一つずつ渡し、読ませてから貼るように促す。

教材4



ねらい

目と手の協応、手指先の操作

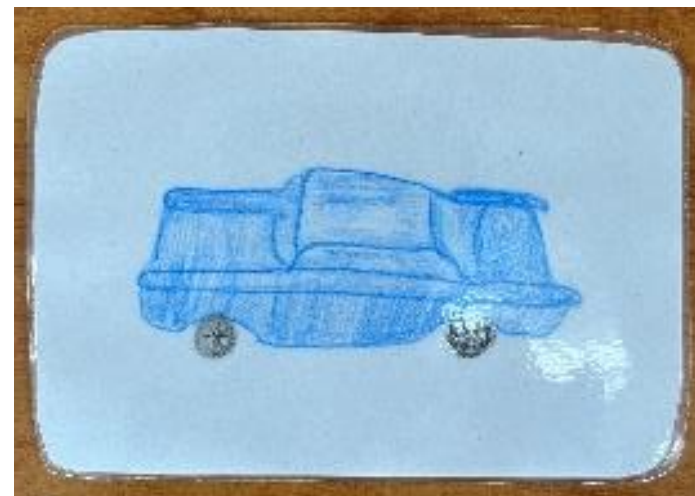
教材4

使用方法

- ・イラスト白丸に注目させ、○の中にシールが収まるように貼らせる。大きくはみ出るときはやり直しをさせる。自分でシール1枚ずつはがすことに慣れさせ、はがしたら貼る、を繰り返す。
- ・目線や注意が手元に向かない時には、白丸を指さして声かけをしたり、手先をちょんちょんとタッチし、課題に注意を向けさせる。



教材5



ねらい

★名詞理解を確実にする。

- ・教師が尋ねた物やカード等を教師に手渡すことができる。

使用方法

- ①具体物→写真→イラストの順番で教材に取り組む。
- ②始めは、二者択一で名詞を尋ねる。
- ③二者択一が確実にようになってきたら、選択肢を増やして取り組む。
- ④いろいろな名詞の理解につなげるために、多くの名詞の学習に取り組む。



教材6

ねらい

★手の感覚の発達および異種感覚の統合を促す

- ・手の感覚を発達させ、手を認識できるようにする。

使用方法

- ①声かけをしながら手に触れる。
- ②手指のマッサージをし、手の感覚を感じるようにする。
- ③硬いもの、柔らかいもの、長いものなど様々な形状のものを使用する。握らせたり、触れさせたりする。

教材7



ねらい

★絵を完成させ、名詞理解を促す。

- ・同じ物の選別や、絵のつながりを意識できるようになる。

使用方法

- ①3～6ピースで構成されるパズルを、はじめは1種類ずつ完成させる。
- ②複数のパズルを混ぜてチャレンジさせる。
- ③ピースの色や絵に注目するよう声をかけながら完成を促す。

教材8



ねらい

教材8

★コミュニケーションの基礎をつくる
要求手段の有効な使用を身に付ける。

使用方法

- ① 2冊の絵本を用意し、「どちらを読む？」と問いかける。
- ② 読みたい絵本を1冊選ばせ、「こっちを読んでください。」と復唱させ、徐々に一人で言えるよう促す。
- ③ 選んだ絵本を読む。ページは児童にめくらせ、読んでいる箇所を指でなぞる。読める部分は読ませる。

教材9

みどりき
6こ



ねらい

- ★言葉の意味内容をふくらませます。
数量の概念の発達を促す。

使用方法

- ①複数色のおはじきと入れ物を用意する。
- ②色と数を文章で指定し、読ませる。
- ③文章とあったおはじきを、ケースに入れさせる。
- ④入れ終わった後は、一緒に数える。

教材10



ねらい

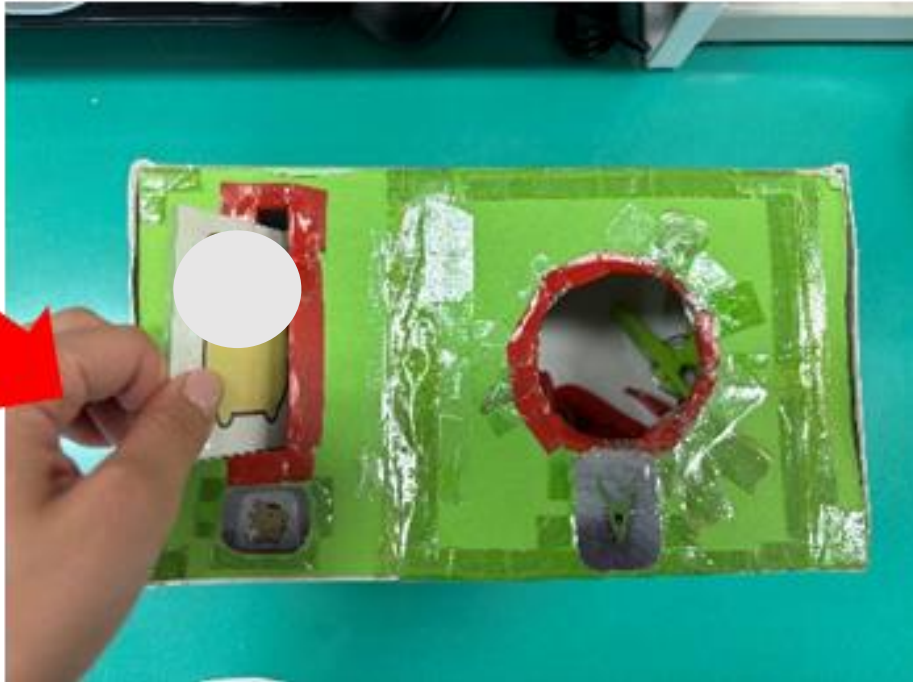
日常生活に必要な動作の中で、

- ①数を数える（数の概念、数える）、
 - ②重ねたり束ねたりしてそろえる、適切な道具を使ってまとめる（左右の分化、言葉の指示による動作）
- ということが身につくこと。

使用方法

- ①紙…3枚（あるいは5枚）ずつ取って揃え、ダブルクリップやクリップでとめる。
- ②ストロー…10本を輪ゴムで縛る。
- ③カード…3枚（あるいは5枚）を輪ゴムで縛る。あるいはダブルクリップでとめる。

教材 11



ねらい

- ① 洗濯ばさみを指でつまむ。
- ② 洗濯ばさみとカードを仕分けして箱に入れる。

使用方法

- ① 洗濯ばさみを指でつまんでカードから外す。
- ② 洗濯ばさみとカードをそれぞれの箱の穴の中に仕分けして入れる。

教材 12



ねらい

見た目の空間量と、物の数は必ずしも一致しないことを理解させる教材。

使用方法

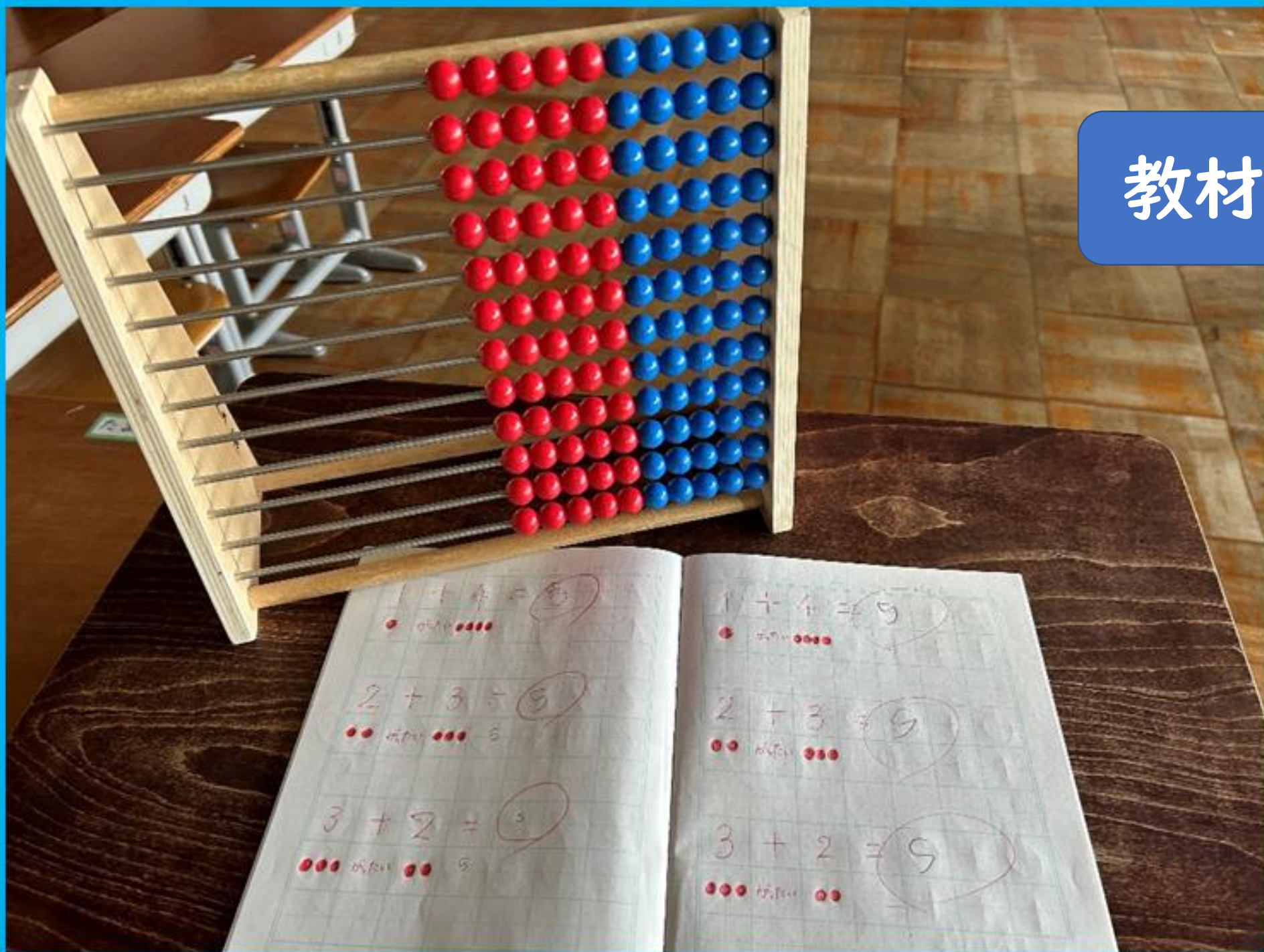
玉の数が同じ紐のペアを見つける。

紐の長さには惑わされず、玉の数をしっかり数えてを見つける。

発展学習：

20～30個の玉を、細長い器や底の広い器など、いろいろな形のものに入れて、同じようにペア見つけの課題をする。やがて、500mlの水をいろいろな形のものに入れて見せ、見た目は違っても水の量は同じであることを理解させる。

教材 13



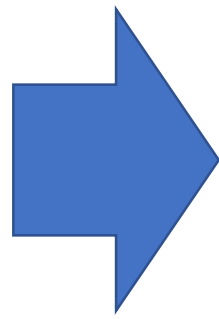
教材13

ねらい

数量の概念の発達を促す。
数の合成・分解について、理解する。

使用方法

- ・玉そろばんを活用する。
- ・式のみで計算できても、玉の数を数えさせ、合っているかどうか確認させる。
- ・合成のことを「がったい!」と児童の関心をもつ言葉で理解に結びつける。
- ・式と玉そろばんの数が合うように、ノートに、式と同じ数の●を書いて支援する。
- ・慣れてきたら、●はなしで、式と玉そろばんのみで学習させる。



ねらい

- ① ものと言葉の理解。
- ② 語彙を増やす。

教材14

使用方法

- ① 小さなタッパーの中にイラストまたは写真を用意し、その言葉のひらがなやそれに近い言葉が完成するようなひらがなを入れる。
- ② 教師がイラストまたは写真をホワイトボードに貼り、児童がタッパーの中にあるひらがなを用いてその言葉を完成させる。

写真から始め、イラストのような抽象的なものでも理解できるかどうか。写真、言葉、発音の学習にもつなげることができる。